

平成19(2007)年度 中間決算説明資料 (概要)

平成19(2007)年11月7日

「将来に関する記述等についてのご注意」については最終ページをお読みください。

- 目次 -

【中間】平成19年度中間決算(連結)のポイント	・・・	1
【中間】経常利益セグメント分析	・・・	2
【通期】平成19年度通期業績予想(連結)のポイント	・・・	6
【通期】経常利益セグメント分析	・・・	7
【中間・通期】連結貸借対照表・財務指標	・・・	11
【中間・通期】連結キャッシュ・フロー	・・・	12

新日鉱ホールディングス株式会社

証券コード 5016



【中間】平成19年度中間決算(連結)のポイント



■ 諸元 (前年同期比)

- 為替レート：
115 119円/ドルと円安に推移
- 原油価格：
65.4 67.4ドル/バレルと上昇
- 銅価：
338 348セント/ポンドと上昇

■ 売上高

2兆106億円 (前年同期比11%増収)

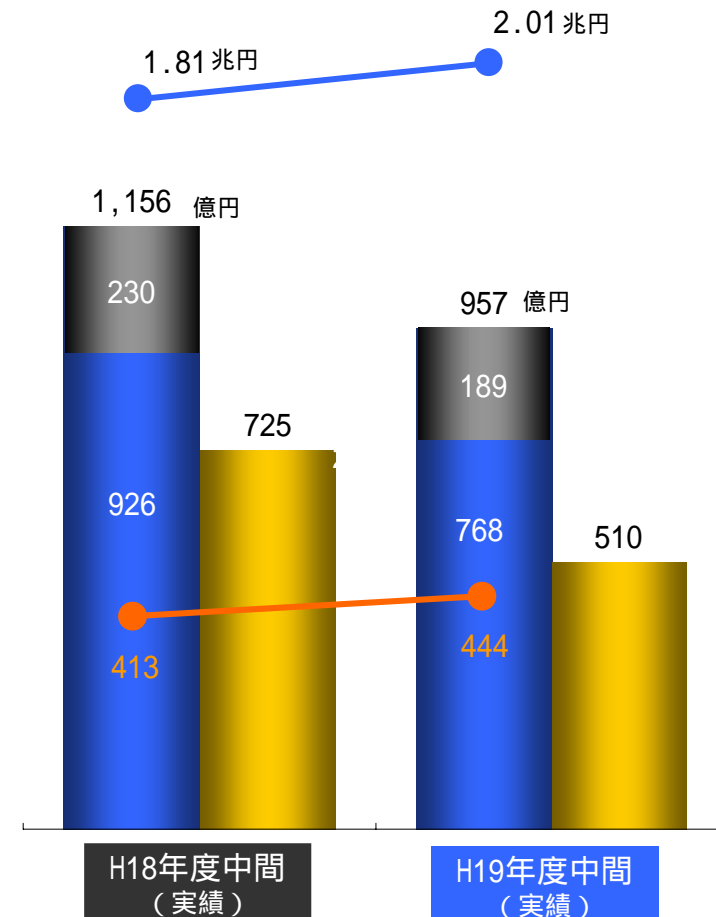
■ 経常利益

957億円 (前年同期比17%減益)
うち持分法投資利益444億円
(前年同期比8%増益)

■ 中間純利益

510億円 (前年同期比30%減益)

売上高・経常利益・中間純利益等 (H19年度中間)



■ 売上高 (兆円)
 ● 持分法投資利益 (億円)

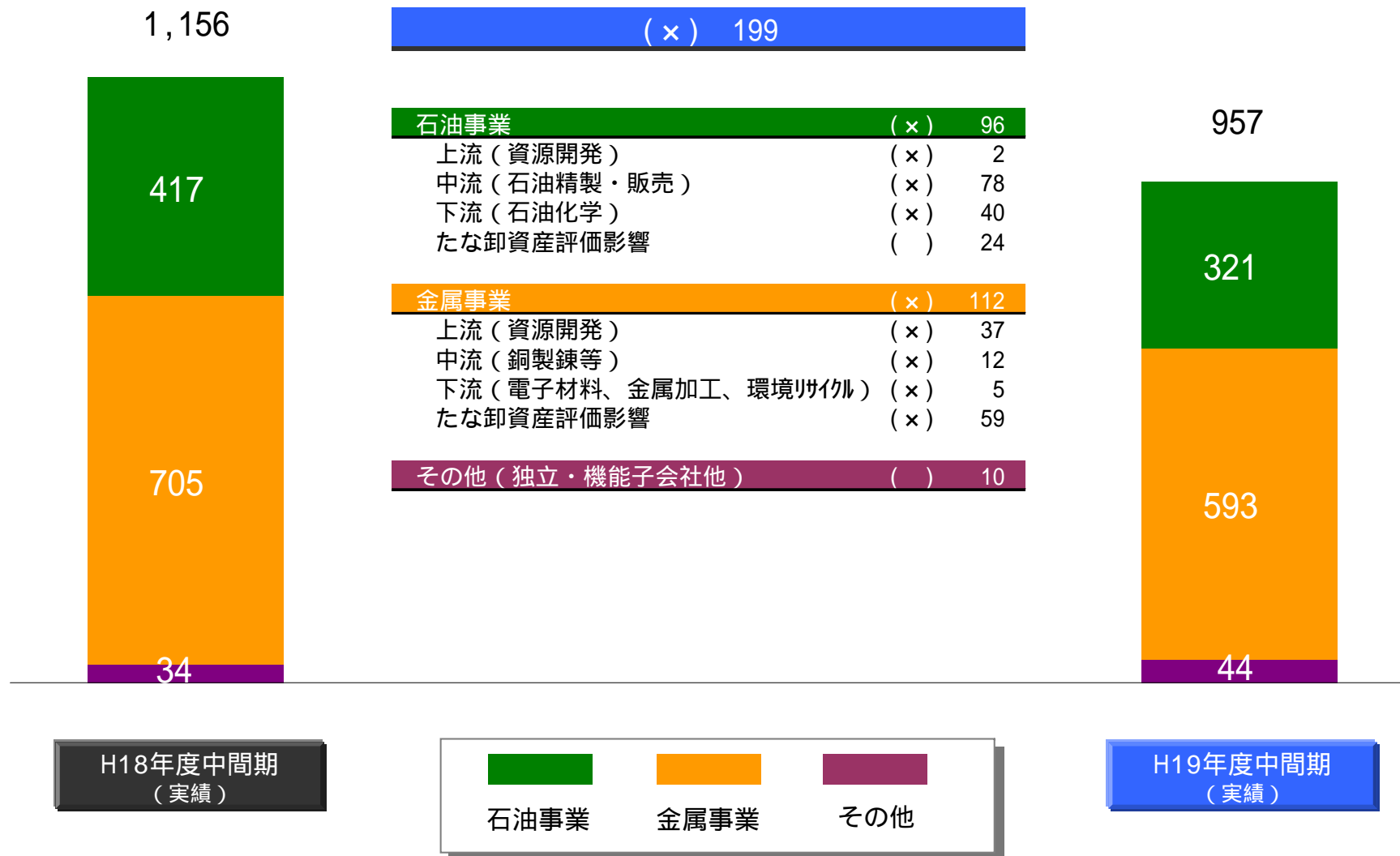
■ 経常利益(たな卸資産評価影響除き) (億円)
 ■ たな卸資産評価影響 (億円)
 ■ 中間純利益 (億円)

H19年度中間期(実績) v s. H18年度中間期(実績)



全 体

(単位：億円)



H19年度中間期(実績) v s. H18年度中間期(実績)



石油

(単位：億円)

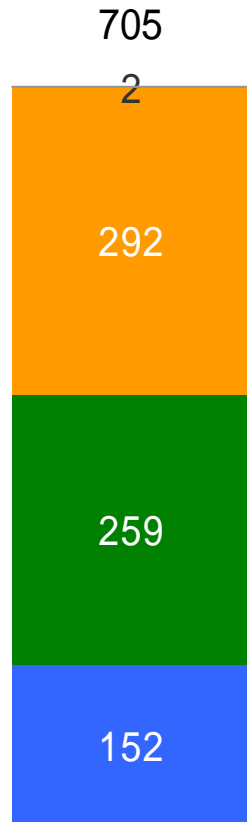


H19年度中間期(実績) v s. H18年度中間期(実績)



金属

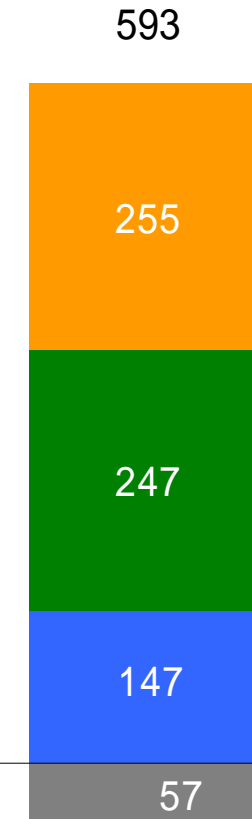
(単位：億円)



金属事業 (×) 112

金属事業(たな卸資産影響除き)	(×)	53
上流(資源開発)	(×)	37
銅価	()	27
資源開発費用	(×)	43
鉱石代精算(鉱山)他	(×)	21
中流(銅製錬等)	(×)	12
銅価	()	14
為替	()	9
税制改正に伴う償却影響	(×)	3
買鉱条件悪化他	(×)	32
下流(電子材料・金属加工・環境リサイクル)	(×)	5
環境リサイクル(マージン改善他)	()	17
電子材料(マージン悪化他)	(×)	5
金属加工(減販他)	(×)	18
調整他	()	1

たな卸資産評価影響 (×) 59



H18年度中間期
(実績)

H19年度中間期
(実績)

	上流(資源開発)	上流(資源開発)、 中流(銅製錬等)および 下流(環境リサイクル) は、事業の種類別セ グメント情報(会計セ グメント)では「金属 (日鉱金属グループ)」 セグメントの「資源 ・金属」事業分野に 相当します。
	中流(銅製錬等)	
	下流(電子材料・金属加工 ・環境リサイクル)	
	たな卸資産評価影響	



【中間】 経常利益セグメント分析表

(単位：億円)

	19年度中間期実績 (A)					18年度中間期実績 (B)					差異 (A)-(B)									
	親会社・連結子会社			持分法	計	親会社・連結子会社			持分法	計	親会社・連結子会社			持分法	計					
	在庫・償却 影響除き	在庫影響 *1	償却影響 *2			在庫・償却 影響除き	在庫影響 *1	償却影響 *2			在庫・償却 影響除き	在庫影響	償却影響							
石油	58	251	22	33	321	150	227	-	39	417	(x)	92	(o)	24	(x)	22	(x)	6	(x)	96
上流(資源開発)	29			38	67	29			39	68	(x)	1		-	(x)	1	(x)	1	(x)	2
中流(精製・販売)	43	251	22	5	181	8	227		0	235	(x)	51	(o)	24	(x)	22	(x)	5	(x)	54
下流(石油化学)	73				73	114				114	(x)	40		-		-		-	(x)	40
金属	261	57	5	393	593	344	2	-	359	705	(x)	83	(x)	59	(x)	5	(o)	35	(x)	112
上流(資源開発)*3	54		0	309	255	16			308	292	(x)	38		-	(x)	0	(o)	1	(x)	37
中流(銅製錬等)*3	166	1	3	84	248	209			50	259	(x)	42	(o)	1	(x)	3	(o)	34	(x)	11
下流	148	58	1	0	89	152	2		0	154	(x)	3	(x)	60	(x)	1	(o)	0	(x)	65
環境リサイクル*3	55		0		55	38				38	(o)	17		-	(x)	0		-	(o)	17
電子材料	44	55	1		12	48	2			51	(x)	5	(x)	57	(x)	1		-	(x)	63
金属加工	32	0	1	0	31	49			0	49	(x)	18	(o)	0	(x)	1	(o)	0	(x)	18
金属調整他*3	18	3	0	0	14	16			0	16	(o)	2	(x)	3	(x)	0	(x)	0	(x)	2
その他	31	5	0	18	44	19			15	34	(o)	12	(x)	5	(x)	0	(o)	3	(o)	10
合計	350	189	27	444	957	513	230	-	413	1,156	(x)	163	(x)	41	(x)	27	(o)	31	(x)	199
上流	25	-	0	347	322	13	-	-	347	360	(x)	38		-	(x)	0	(x)	0	(x)	38
中流	123	252	25	79	429	216	227	-	50	494	(x)	93	(o)	25	(x)	25	(o)	28	(x)	65
下流	222	58	1	0	163	265	2	-	0	268	(x)	44	(x)	60	(x)	1	(o)	0	(x)	105
その他	31	5	0	18	44	19	-	-	15	34	(o)	12	(x)	5	(x)	0	(o)	3	(o)	10

在庫・償却影響除き経常利益

795

926

(x) 132

*1 在庫影響には、在庫取出損益及びたな卸資産低価損を含む

*2 償却影響は、H19年度税制改正での償却限度額撤廃に伴う現有資産の償却限度到達後の残存簿価5年平均償却費(新規取得資産の残存簿価ゼロベースでの償却費計上影響額を含まない)

*3 上流(資源開発)、中流(銅製錬等)及び下流(環境リサイクル並びに金属調整他の一部)は、事業の種類別セグメント情報では、「金属(日鉱金属グループ)」セグメントの「資源・金属」事業分野に相当する

【通期】平成19年度通期業績予想(連結)のポイント



■ 諸元 (前期比)

- 為替レート：
117 115円/ドルと若干円高に推移
- 原油価格：
60.9 70.0ドル/バレルと大幅上昇
- 銅価：
316 339セント/ポンドと上昇

■ 売上高

4兆2,000億円 (前期比10%増収)

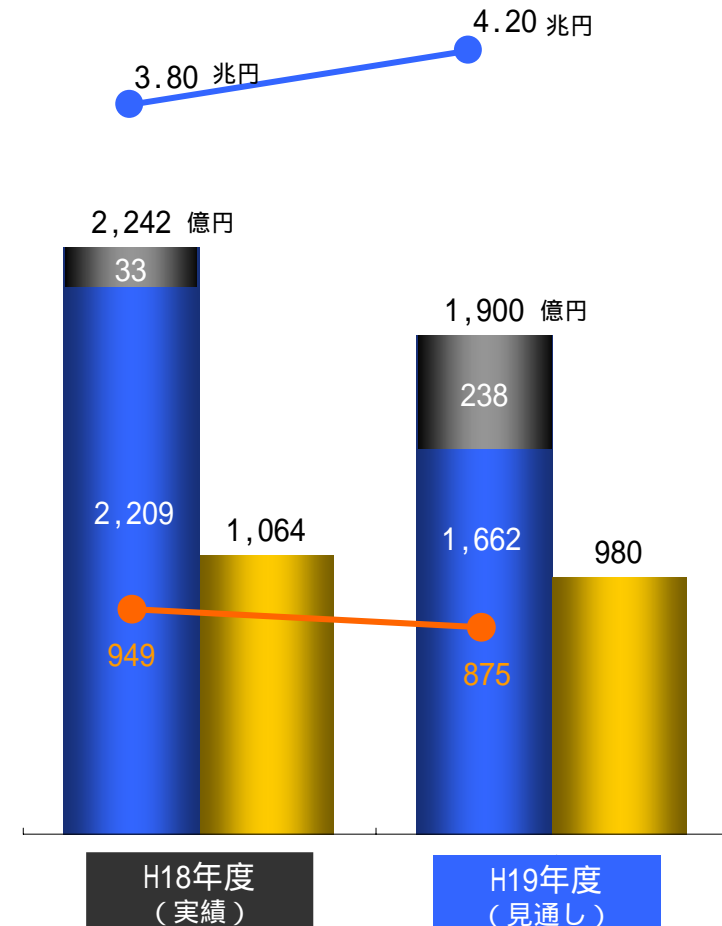
■ 経常利益

1,900億円 (前期比15%減益)
うち持分法投資利益875億円
(前期比8%減益)

■ 当期純利益

980億円 (前期比8%減益)

売上高・経常利益・当期純利益等 (H19年度通期)



■ 売上高 (兆円)
 ● 持分法投資利益 (億円)

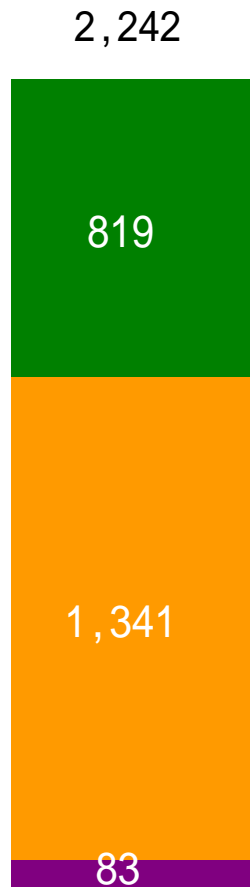
■ 経常利益(たな卸資産評価影響除き) (億円)
 ■ たな卸資産評価影響 (億円)
 ■ 当期純利益 (億円)

H19年度(見通し) v s. H18年度(実績)



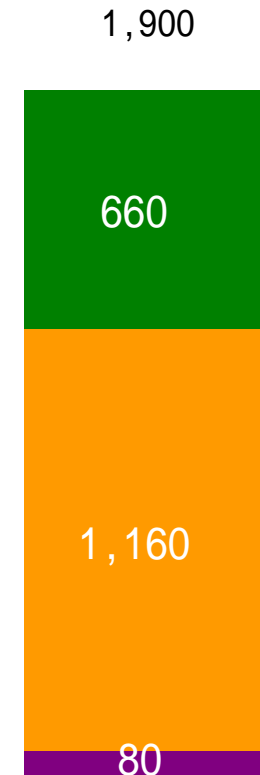
全 体

(単位：億円)



(×) 342

石油事業	(×)	159
上流(資源開発)	(×)	51
中流(石油精製・販売)	(×)	167
下流(石油化学)	(×)	109
たな卸資産評価影響	()	168
金属事業	(×)	181
上流(資源開発)	(×)	69
中流(銅製錬等)	(×)	169
下流(電子材料・金属加工・環境リサイクル)	()	16
たな卸資産評価影響	()	42
その他(独立・機能子会社他)	(×)	3



H18年度通期
(実績)



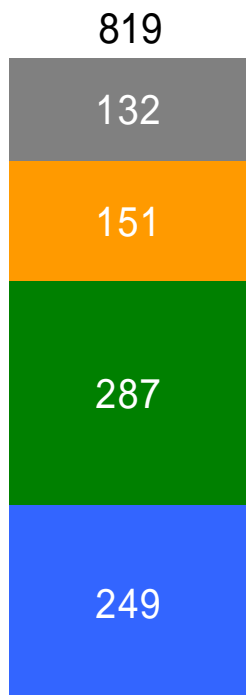
H19年度通期
(見通し)

H19年度(見通し) v s. H18年度(実績)



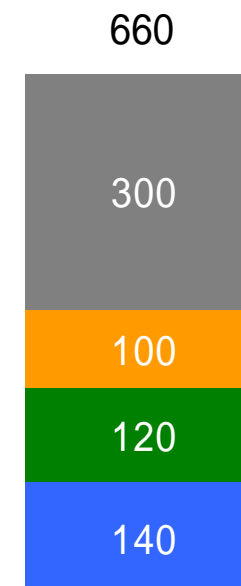
石油

(単位：億円)



石油事業 (×) 159

石油事業(たな卸資産影響除き)		(×)	327
上流(資源開発)		(×)	51
生産数量減	(×)	35	
原油価格	()	12	
為替他	(×)	28	
中流(石油精製・販売)		(×)	167
税制改正に伴う償却影響	(×)	50	
エネルギーコスト	(×)	44	
マージン悪化他	(×)	73	
下流(石油化学)		(×)	109
マージン悪化およびコスト増	(×)	109	
たな卸資産評価影響		()	168



H18年度通期
(実績)



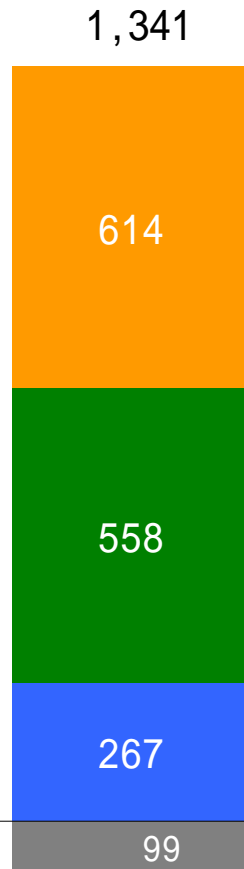
H19年度通期
(見通し)

H19年度(見通し) v s. H18年度(実績)



金属

(単位：億円)

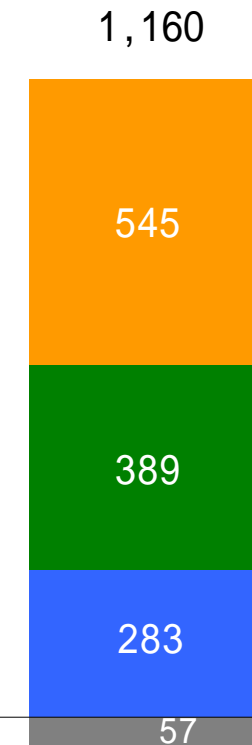


H18年度通期
(実績)

金属事業 (×) 181

金属事業(たな卸資産影響除き)	(×)	222
上流(資源開発)	(×)	69
銅価	()	29
資源開発費用	(×)	47
減販他	(×)	51
中流(銅製錬等)	(×)	169
銅価	()	25
為替	(×)	13
税制改正に伴う償却影響	(×)	7
買鉱条件悪化他	(×)	174
下流(電子材料・金属加工・環境リサイクル)	()	16
環境リサイクル(マージン改善他)	()	14
電子材料(増販他)	()	9
金属加工(増販他)	()	6
調整他	(×)	13

たな卸資産評価影響 () 42



H19年度通期
(見通し)

- 上流(資源開発)
- 中流(銅製錬等)
- 下流(電子材料・金属加工・環境リサイクル)
- たな卸資産評価影響

上流(資源開発)、中流(銅製錬等)および下流(環境リサイクル)は、事業の種類別セグメント情報(会計セグメント)では「金属(日鉱金属グループ)」セグメントの「資源・金属」事業分野に相当します。

【通期】 経常利益セグメント分析表



(単位: 億円)

	19年度今予想 (A)					18年度実績 (B)					差異 (A)-(B)					
	親会社・連結子会社				持分法	計	親会社・連結子会社				持分法	計	親会社・連結子会社			
	在庫・償却 影響除き	在庫影響 *1	償却影響 *2				在庫・償却 影響除き	在庫影響 *1	償却影響 *2				在庫・償却 影響除き	在庫影響	償却影響	
石油	355	300	50	55	660	612	132	-	75	819	(x) 257	(o) 168	(x) 50	(x) 20	(x) 159	
上流(資源開発)	40			60	100	66			85	151	(x) 26	-	-	(x) 25	(x) 51	
中流(精製・販売)	175	300	50	5	420	297	132		10	419	(x) 122	(o) 168	(x) 50	(o) 5	(o) 1	
下流(石油化学)	140				140	249				249	(x) 109	-	-	-	(x) 109	
金属	442	57	10	785	1,160	595	99	-	845	1,341	(x) 153	(o) 42	(x) 10	(x) 60	(x) 181	
上流(資源開発)*3	97			642	545	56			671	614	(x) 41	-	-	(x) 29	(x) 69	
中流(銅製錬等)*3	253	1	7	143	390	384	3		174	555	(x) 131	(o) 4	(x) 7	(x) 31	(x) 165	
下流	286	58	3	0	225	267	96		0	171	(o) 19	(o) 38	(x) 3	(x) 0	(o) 54	
環境リサイクル *3	100				100	86				86	(o) 14	-	-	-	(o) 14	
電子材料	88	55	2		31	77	99			22	(o) 11	(o) 44	(x) 2	-	(o) 53	
金属加工	75		1	0	74	68	2		0	66	(o) 7	(o) 2	(x) 1	(x) 0	(o) 8	
金属調整他 *3	23	3		0	20	36	5		0	41	(x) 13	(x) 8	-	(x) 0	(x) 21	
その他	50	5		35	80	54	1		30	83	(x) 4	(x) 4	-	(o) 6	(x) 3	
合計	847	238	60	875	1,900	1,260	33	-	949	2,242	(x) 413	(o) 205	(x) 60	(x) 74	(x) 342	
上流	57	-	-	702	645	9	-	-	756	765	(x) 66	-	-	(x) 54	(x) 120	
中流	428	301	57	138	810	681	130	-	164	974	(x) 253	(o) 171	(x) 57	(x) 26	(x) 164	
下流	426	58	3	-	365	516	96	-	0	421	(x) 90	(o) 38	(x) 3	(x) 0	(x) 56	
その他	50	5	-	35	80	54	1	-	30	83	(x) 4	(x) 4	-	(o) 6	(x) 3	

在庫・償却影響除き経常利益

1,722

2,209

(x) 487

*1 在庫影響には、在庫取出損益及びたな卸資産低価損を含む

*2 償却影響は、H19年度税制改正での償却限度額撤廃に伴う現有資産の償却限度到達後の残存簿価5年平均償却費(新規取得資産の残存簿価ゼロベースでの償却費計上影響額を含まない)

*3 上流(資源開発)、中流(銅製錬等)及び下流(環境リサイクル並びに金属調整他の一部)は、事業の種類別セグメント情報では、「金属(日鉱金属グループ)」セグメントの「資源・金属」事業分野に相当する

連結貸借対照表・財務指標



■ 平成19年9月末（実績）

自己資本比率、D/Eレシオとも改善。

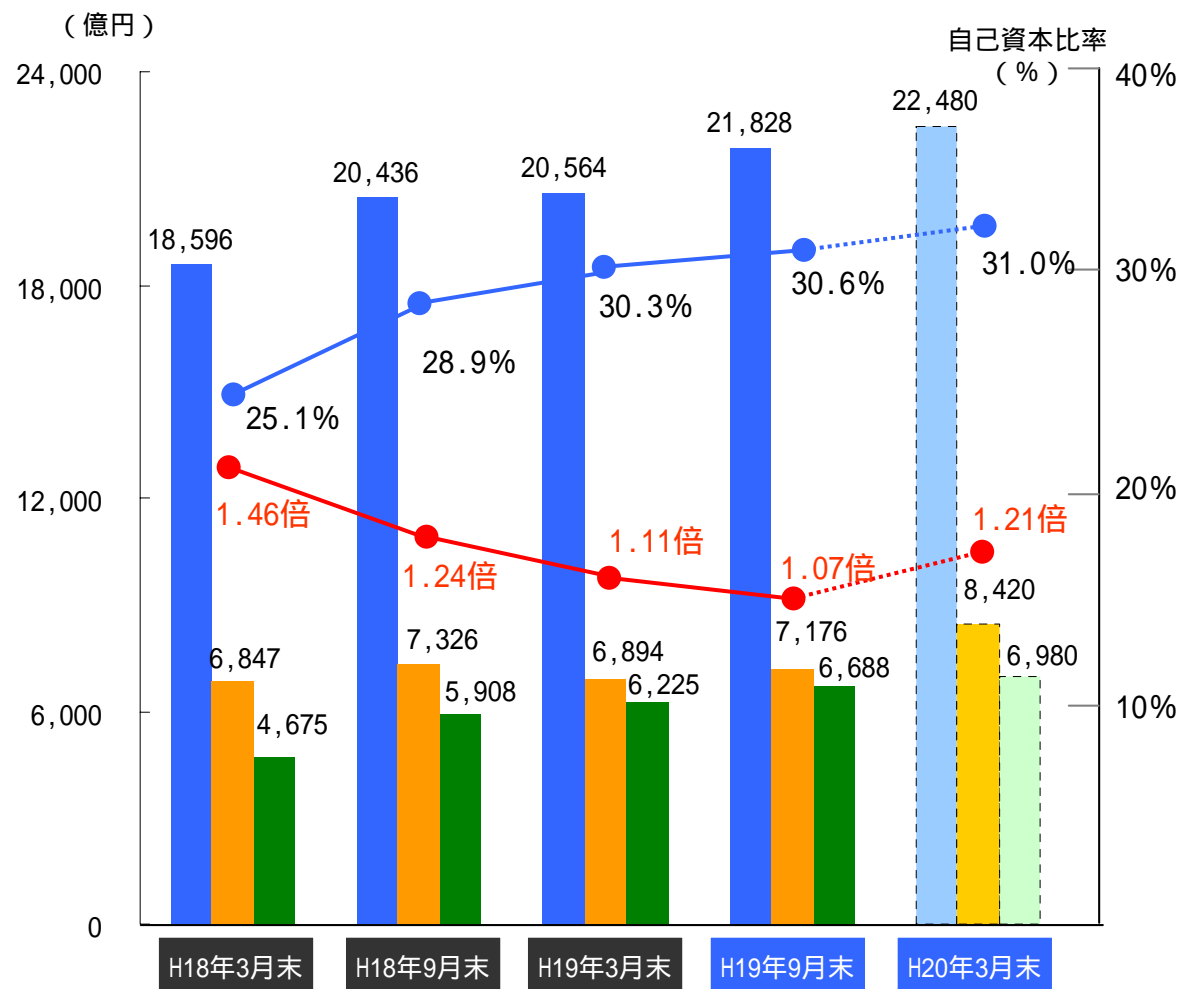
総資産	2兆1,828億円
有利子負債	7,176億円
自己資本	6,688億円
自己資本比率	30.6%
D/Eレシオ	1.07倍

■ 平成20年3月末（見通し）

D/Eレシオの悪化が見込まれるが、自己資本比率は改善。

総資産	2兆2,480億円
有利子負債	8,420億円
自己資本	6,980億円
自己資本比率	31.0%
D/Eレシオ	1.21倍

連結貸借対照表・財務指標の推移



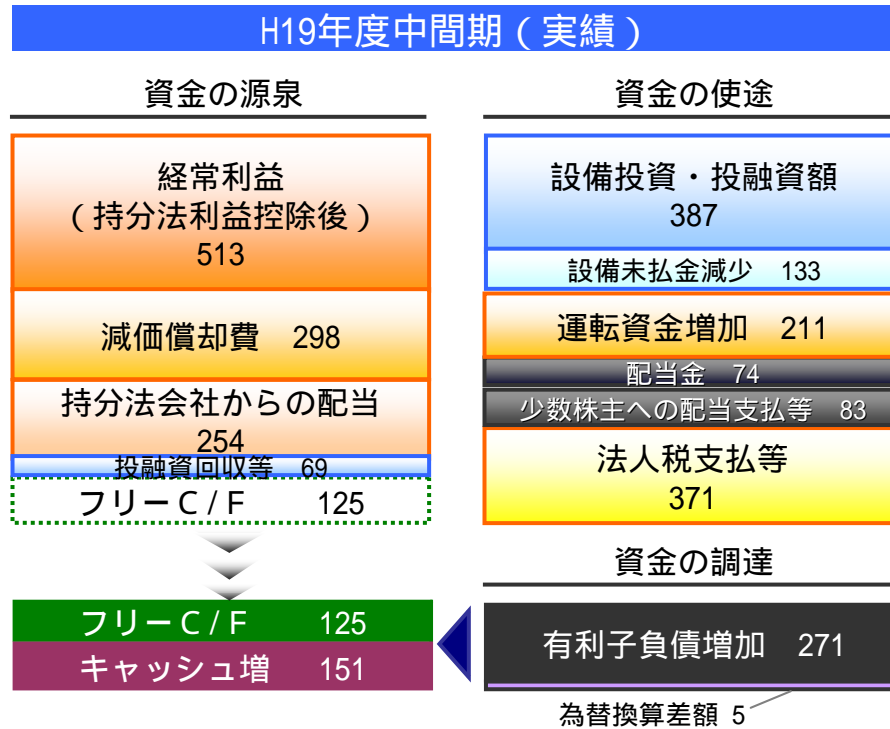
総資産（億円） 有利子負債（億円） 自己資本*（億円） 自己資本比率（%） D/Eレシオ（倍）

* H18年度以降の自己資本は、純資産の部の株主資本および評価・換算差額等の合計額（少数株主持分等含まず）

連結キャッシュ・フロー



（単位：億円）



■ キャッシュ・フロー

- ・ H19年度通期(見通し)の設備投資・投融資については、当初計画どおりの前提。
- ・ 運転資金増加は揮発油税の期末休日等の影響を含む。

少数株主からの増資払込み 10



将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれております。将来の見通しに関する記述には、様々な既知および未知のリスク、不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。
- 当社は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている目標、想定、期待、予測、計画、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになるということを、保証いたしません。
- 将来の見通しに影響を与えうる潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書またはホームページの「事業等のリスク」の項に記載されております。なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらのみ限定されるものではありませんのでご注意ください。
- 本資料は、株主・投資家等の皆様に、当社の経営方針・経営情報等をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入・売却など、投資を勧誘するものではありません。実際に投資を行う際は、本情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただきますとともに、投資に関するご判断はご自身にてなされますよう、お願いいたします。

平成19年度中間決算説明資料

平成19年度中間期連結決算及び19年度連結業績予想の概要

1. 平成19年度中間期連結決算の概要
2. 平成19年度連結業績予想の概要
 - < 1 > 対前年度実績比較
 - < 2 > 対前回(8.8)発表予想比較(中間期及び年度)

セグメント別情報(中間決算及び19年度予想)

- < 1 > 石油(ジャパンエナジーグループ)
- < 2 > 金属(日鉱金属グループ)
 - < 2- > 資源・金属カンパニーグループ
 - < 2- > 電子材料カンパニーグループ
 - < 2- > 金属加工カンパニーグループ

連結貸借対照表、キャッシュ・フロー、指標等

1. 連結貸借対照表
2. 連結キャッシュ・フロー
3. 連結ベース設備投資・投融資額及び減価償却費
4. セグメント別連結有利子負債
5. 配当金
6. 連結ベース人員の推移

新日鉱ホールディングス株式会社

平成19年11月7日

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいています。
実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

平成19年度中間期連結決算及び19年度連結業績予想の概要

1. 平成19年度中間期連結決算の概要

(1) 連結損益計算書

(単位:億円)

	19年度	18年度	差異
	上期実績	上期実績	
売上高	20,106	18,075	(o) 2,031
営業利益	503	755	(x) 252
営業外損益	454	401	(o) 53
持分法投資利益	444	413	(o) 31
その他営業外損益	9	12	(o) 22
経常利益	957	1,156	(x) 199
特別損益	27	84	(x) 57
法人税等	353	378	(o) 25
少数株主利益	121	137	(o) 15
当期純利益	510	725	(x) 215

(2) 対象会社数

連結子会社 113社(増加 1社, 減少 2社)
持分法適用会社 15社(増加 -社, 減少 -社)

(3) 19年度中間期

経常利益 957億円の内訳

(i) 営業利益 503億円	
石油	283 億円
金属	205 "
資源・金属	177 "
電子材料	3 "
金属加工	31 "
金属調整	0 "
その他	15 "
計	503 "
(ii) 営業外損益 454億円	
受取利息及び配当金	27 億円
為替差益	35 "
持分法投資利益	444 "
支払利息	64 "
その他	11 "
計	454 "

特別損益 27億円の内訳

固定資産売却益	13 "
事業撤退損失引当金戻入額	22 "
収用補償金	19 "
固定資産除却損	21 "
減損損失	8 "
その他	2 "
計	27 "

(4)セグメント別業績

(単位:億円)

		19年度	18年度	差異
		上期実績	上期実績	
石油	売上高	14,349	12,975	(o) 1,374
	営業利益	283	384	(x) 102
	経常利益	321	417	(x) 96
金属	売上高	5,652	5,036	(o) 616
	営業利益	205	356	(x) 151
	経常利益	593	705	(x) 112
資源・金属	売上高	4,990	4,382	(o) 608
	営業利益	177	249	(x) 72
	経常利益	573	601	(x) 29
電子材料	売上高	678	646	(o) 32
	営業利益	3	57	(x) 60
	経常利益	12	51	(x) 63
金属加工	売上高	362	351	(o) 11
	営業利益	31	46	(x) 16
	経常利益	31	49	(x) 18
金属調整	売上高	377	343	(x) 35
	営業利益	0	3	(x) 3
	経常利益	0	3	(x) 3
その他	売上高	326	250	(o) 76
	営業利益	15	15	(o) 0
	経常利益	44	34	(o) 10
セグメント間消去	売上高	221	185	(x) 36
合計	売上高	20,106	18,075	(o) 2,031
	営業利益	503	755	(x) 252
	経常利益	957	1,156	(x) 199

(5)諸元実績

			19年度	18年度	差異
			上期実績	上期実績	
共通	為替レート	円/\$	119	115	(+) 4
石油	原油FOB(*1)	\$/BBL	67.4	65.4	(+) 2.1
	パラキシレン市況(*2)	\$/t	1,141	1,133	(+) 8
資源・金属	銅価	¢/lb	348	338	(+) 11
	電気銅販売量	千t/期	326	308	(+) 18
電子材料	電解銅箔販売量	t/月	2,065	2,038	(+) 27
	圧延銅箔販売量	千m/月	3,959	3,613	(+) 346
金属加工	生産品販売量	千t/期	19.8	22.5	(-) 2.7
	高機能材比率	%	44%	42%	(+) 2%

(*1)DUスポットベース

(*2)ACP実勢ベース

2. 平成19年度連結業績予想の概要

< 1 > 対前年度実績比較

(1) 前提条件

			19年度			18年度			差異			
			上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度	
共通	為替レート	円/\$	119	110	115	115	119	117	(+) 4	(-) 9	(-) 2	
石油	原油FOB(*1)	\$/BBL	67.4	72.5	70.0	65.4	56.4	60.9	(+) 2.1	(+) 16.1	(+) 9.1	
	パラキシレン市況(*2)	\$/t	1,141	1,197	1,170	1,133	1,072	1,103	(+) 8	(+) 125	(+) 67	
金属	資源・金属	銅価	¢ /lb	348	330	339	338	295	316	(+) 11	(+) 35	(+) 23
		電気銅販売量	千t/期	326	329	655	308	338	645	(+) 18	(-) 8	(+) 10
電子材料		電解銅箔販売量	t/月	2,065	2,136	2,101	2,038	1,730	1,884	(+) 27	(+) 406	(+) 217
		圧延銅箔販売量	千m/月	3,959	4,000	3,979	3,613	3,562	3,588	(+) 346	(+) 438	(+) 392
金属加工		生産品販売量	千t/期	19.8	22.8	42.6	22.5	19.7	42.2	(-) 2.7	(+) 3.1	(+) 0.4
		高機能材比率	%	44%	47%	46%	42%	45%	43%	(+) 2%	(+) 2%	(+) 3%

(*1)DUスポットベース

(*2)ACP実勢ベース

(2) 連結損益計算書

(単位: 億円)

	19年度			18年度			差異		
	上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
売上高	20,106	21,894	42,000	18,075	19,949	38,024	(o) 2,031	(o) 1,945	(o) 3,976
営業利益	503	597	1,100	755	567	1,323	(x) 252	(o) 29	(x) 223
経常利益	957	943	1,900	1,156	1,086	2,242	(x) 199	(x) 144	(x) 342
当期純利益	510	470	980	725	339	1,064	(x) 215	(o) 131	(x) 84
1株当たり当期純利益(円/株)	55.04		105.74	82.64		117.98	(x) 27.60		(x) 12.24
(株数: 千株)	926,850		926,813	877,447		902,128			

(注) 年度予想1株当たり当期純利益は19/9未発行済株式数(連結ベース)で算定

平成18年7月及び8月に、計80,000,000株の新株発行増資を行いました

経常利益に含まれるたな卸資産評価の影響(プラスは益)

在庫評価損益	239	49	288	230	110	120	(o) 9	(o) 158	(o) 168
在庫低価損	50	-	50	-	87	87	(x) 50	(o) 87	(o) 37
計	189	49	238	230	197	33	(x) 41	(o) 245	(o) 205

(3) セグメント別業績予想

(単位: 億円)

		19年度			18年度			差異		
		上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
石油	売上高	14,349	16,451	30,800	12,975	14,582	27,557	(o) 1,374	(o) 1,868	(o) 3,243
	営業利益	283	357	640	384	375	759	(x) 102	(x) 18	(x) 119
	経常利益	321	339	660	417	402	819	(x) 96	(x) 63	(x) 159
金属	売上高	5,652	5,248	10,900	5,036	5,205	10,241	(o) 616	(o) 43	(o) 659
	営業利益	205	205	410	356	167	523	(x) 151	(o) 37	(x) 113
	経常利益	593	567	1,160	705	636	1,341	(x) 112	(x) 68	(x) 181
資源・金属	売上高	4,990	4,560	9,550	4,382	4,489	8,870	(o) 608	(o) 72	(o) 680
	営業利益	177	106	283	249	202	451	(x) 72	(x) 96	(x) 168
	経常利益	573	482	1,055	601	676	1,278	(x) 29	(x) 194	(x) 223
電子材料	売上高	678	642	1,320	646	650	1,296	(o) 32	(x) 8	(o) 24
	営業利益	3	55	52	57	64	7	(x) 60	(o) 119	(o) 59
	経常利益	12	43	31	51	73	22	(x) 63	(o) 116	(o) 53
金属加工	売上高	362	398	760	351	353	704	(o) 11	(o) 45	(o) 56
	営業利益	31	44	75	46	14	61	(x) 16	(o) 30	(o) 14
	経常利益	31	43	74	49	17	66	(x) 18	(o) 26	(o) 8
金属調整	売上高	377	353	730	343	286	629	(x) 35	(x) 66	(x) 101
	営業利益	0	0	-	3	15	19	(x) 3	(x) 16	(x) 19
	経常利益	0	0	-	3	15	19	(x) 3	(x) 16	(x) 19
その他	売上高	326	414	740	250	407	657	(o) 76	(o) 7	(o) 83
	営業利益	15	35	50	15	25	40	(o) 0	(o) 10	(o) 10
	経常利益	44	36	80	34	49	83	(o) 10	(x) 12	(x) 3
セグメント間消去	売上高	221	219	440	185	245	430	(x) 36	(o) 27	(x) 10
合計	売上高	20,106	21,894	42,000	18,075	19,949	38,024	(o) 2,031	(o) 1,945	(o) 3,976
	営業利益	503	597	1,100	755	567	1,323	(x) 252	(o) 29	(x) 223
	経常利益	957	943	1,900	1,156	1,086	2,242	(x) 199	(x) 144	(x) 342

経常利益に含まれるたな卸資産評価の影響(セグメント別)

石油	在庫評価損益	251	49	300	227	85	142	(o) 24	(o) 134	(o) 158
	在庫低価損	0	-	0	-	10	10	(o) 0	(o) 10	(o) 10
	計	251	49	300	227	95	132	(o) 24	(o) 144	(o) 168
金属	在庫評価損益	12	-	12	2	24	22	(x) 14	(o) 24	(o) 10
	在庫低価損	45	-	45	-	77	77	(x) 45	(o) 77	(o) 32
	計	57	-	57	2	101	99	(x) 59	(o) 101	(o) 42

(4) 19年度予想対18年度実績セグメント別経常利益比較説明

(単位: 億円)		19年度 予想	18年度 実績	差異	経常利益増減説明
石油		660	819	(x) 159	在庫評価益等(o) 168(132 300), 石化損益(x) 109, エネルギーコストの増(x) 44, 償却方法の変更(x) 50, マージン悪化等(x) 124
金属		1,160	1,341	(x) 181	
	資源・金属	1,055	1,278	(x) 223	資源・金属カンパニー及び連結子会社(x) 163 (環境リサイクル事業の収益改善等はあるが, 買鉱条件悪化, カセロネスプロジェクト関連費用増加等により減益) 持分法投資利益(x) 60 (金属価格上昇はあるが, 海外製錬会社の買鉱条件悪化, 海外鉱山の減産等により減益)
	電子材料	31	22	(o) 53	主要製品の増販及びマージン改善並びに在庫評価損・低価損の減等により, (o) 53億円の増益 [在庫評価の影響額 (o) 44(99 55)]
	金属加工	74	66	(o) 8	圧延銅箔, コルソン合金等の増販及び関係会社の損益改善等により(o) 8億円の増益
	金属調整	-	19	(x) 19	カンパニー間取引の未実現利益の排除等
その他		80	83	(x) 3	
合計		1,900	2,242	(x) 342	

< 2 > 対前回(8.8)発表予想比較

(1) 前提条件

			19年度(今回予想)			19年度(前回(8.8)発表)			差異			
			上期実績	下期予想	年度予想	上期予想	下期予想	年度予想	上期	下期	年度	
共通	為替レート	円/\$	119	110	115	120	115	118	(-) 1	(-) 5	(-) 3	
石油	原油FOB(*1)	\$/BBL	67.4	72.5	70.0	65.6	64.0	64.8	(+) 1.8	(+) 8.5	(+) 5.2	
	パラキシレン市況(*2)	\$/t	1,141	1,197	1,170	1,180	1,129	1,155	(-) 39	(+) 68	(+) 16	
金属	資源・金属	銅価	¢ /lb	348	330	339	323	280	302	(+) 25	(+) 50	(+) 37
		電気銅販売量	千t/期	326	329	655	327	328	656	(-) 2	(+) 1	(-) 0
	電子材料	電解銅箔販売量	t/月	2,065	2,136	2,101	2,044	2,133	2,088	(+) 21	(+) 3	(+) 12
圧延銅箔販売量		千m/月	3,959	4,000	3,979	3,688	4,500	4,094	(+) 271	(-) 500	(-) 115	
金属加工	生産品販売量	千t/期	19.8	22.8	42.6	19.7	21.6	41.3	(+) 0.2	(+) 1.2	(+) 1.4	
	高機能材比率	%	44%	47%	46%	43%	45%	44%	(+) 1%	(+) 2%	(+) 2%	

(*1)DUスポットベース

(*2)ACP実勢ベース

(2) 連結損益計算書

(単位: 億円)

	19年度(今回予想)			19年度(前回(8.8)発表)			差異		
	上期実績	下期予想	年度予想	上期予想	下期予想	年度予想	上期	下期	年度
売上高	20,106	21,894	42,000	19,800	20,140	39,940	(o) 306	(o) 1,754	(o) 2,060
営業利益	503	597	1,100	530	660	1,190	(x) 27	(x) 63	(x) 90
経常利益	957	943	1,900	940	960	1,900	(o) 17	(x) 17	-
当期純利益	510	470	980	520	530	1,050	(x) 10	(x) 60	(x) 70
1株当たり当期純利益(円/株)	55.04		105.74	56.10		113.29	(x) 1.07		(x) 7.55
(株数: 千株)	926,850		926,813	926,860		926,860			

(注) 年度予想1株当たり当期純利益は19/9末発行済株式数(連結ベース)で算定

経常利益に含まれるたな卸資産評価の影響(プラスは益)

在庫評価損益	239	49	288	256	-	256	(x) 17	(o) 49	(o) 32
在庫低価損	50	-	50	8	-	8	(x) 42	-	(x) 42
計	189	49	238	248	-	248	(x) 59	(o) 49	(x) 10

(3) セグメント別業績予想

(単位: 億円)

		19年度(今回予想)			19年度(前回(8.8)発表)			差異		
		上期実績	下期予想	年度予想	上期予想	下期予想	年度予想	上期	下期	年度
石油	売上高	14,349	16,451	30,800	14,200	15,000	29,200	(o) 149	(o) 1,451	(o) 1,600
	営業利益	283	357	640	280	415	695	(o) 3	(x) 58	(x) 55
	経常利益	321	339	660	310	410	720	(o) 11	(x) 71	(x) 60
金属	売上高	5,652	5,248	10,900	5,450	5,030	10,480	(o) 202	(o) 218	(o) 420
	営業利益	205	205	410	240	220	460	(x) 35	(x) 15	(x) 50
	経常利益	593	567	1,160	600	520	1,120	(x) 7	(o) 47	(o) 40
資源・金属	売上高	4,990	4,560	9,550	4,820	4,070	8,890	(o) 170	(o) 490	(o) 660
	営業利益	177	106	283	160	105	265	(o) 17	(o) 1	(o) 18
	経常利益	573	482	1,055	530	425	955	(o) 43	(o) 57	(o) 100
電子材料	売上高	678	642	1,320	650	820	1,470	(o) 28	(x) 178	(x) 150
	営業利益	3	55	52	55	65	120	(x) 58	(x) 10	(x) 68
	経常利益	12	43	31	45	50	95	(x) 57	(x) 7	(x) 64
金属加工	売上高	362	398	760	370	400	770	(x) 8	(x) 2	(x) 10
	営業利益	31	44	75	25	50	75	(o) 6	(x) 6	-
	経常利益	31	43	74	25	45	70	(o) 6	(x) 2	(o) 4
金属調整	売上高	377	353	730	390	260	650	(o) 13	(x) 93	(x) 80
	営業利益	0	0	-	-	-	-	(o) 0	(x) 0	-
	経常利益	0	0	-	-	-	-	(o) 0	(x) 0	-
その他	売上高	326	414	740	350	360	710	(x) 24	(o) 54	(o) 30
	営業利益	15	35	50	10	25	35	(o) 5	(o) 10	(o) 15
	経常利益	44	36	80	30	30	60	(o) 14	(o) 6	(o) 20
セグメント間消去	売上高	221	219	440	200	250	450	(x) 21	(o) 31	(o) 10
合計	売上高	20,106	21,894	42,000	19,800	20,140	39,940	(o) 306	(o) 1,754	(o) 2,060
	営業利益	503	597	1,100	530	660	1,190	(x) 27	(x) 63	(x) 90
	経常利益	957	943	1,900	940	960	1,900	(o) 17	(x) 17	-

経常利益に含まれるたな卸資産評価の影響(セグメント別)

石油	在庫評価損益	251	49	300	265	-	265	(x) 14	(o) 49	(o) 35
	在庫低価損	0	-	0	30	-	30	(o) 30	-	(o) 30
	計	251	49	300	235	-	235	(o) 16	(o) 49	(o) 65
金属	在庫評価損益	12	-	12	9	-	9	(x) 3	-	(x) 3
	在庫低価損	45	-	45	22	-	22	(x) 67	-	(x) 67
	計	57	-	57	13	-	13	(x) 70	-	(x) 70

(4) 19年度上期実績対前上期予想(8.8発表)セグメント別経常利益比較説明

(単位:億円)		19/上期 実績	19/上期 前回(8.8)予想	差異	経常利益増減説明
石油		321	310	(o) 11	在庫評価益等(o)16(235 251), 石化損益(x)27, 費用減他(o)22
金属		593	600	(x) 7	
	資源・金属	573	530	(o) 43	資源・金属カンパニー及び連結子会社(o)36(銅価上昇, 環境リサイクル事業の収益改善等) 持分法投資利益(o)7(海外製錬会社の諸コスト改善等)
	電子材料	12	45	(x) 57	増販及びマージン改善はあるが, 在庫評価損・低価損の増を主因に(x) 57億円の減益 [在庫評価の影響額 (x) 67 (13 55)]
	金属加工	31	25	(o) 6	圧延銅箔の増販及び銅価高騰によるマージン改善等により(o)6億円の増益
	金属調整	0	-	(o) 0	
その他		44	30	(o) 14	独立・機能会社の増益等
合計		957	940	(o) 17	

(5) 19年度今回予想対前回予想(8.8発表)セグメント別経常利益比較説明

(単位:億円)		19年度 今回予想	19年度 前回(8.8)予想	差異	経常利益増減説明
石油		660	720	(x) 60	在庫評価益等(o)65(235 300), 石化損益(x)100, エネルギーコストの増(x)33, その他(o)8
金属		1,160	1,120	(o) 40	
	資源・金属	1,055	955	(o) 100	資源・金属カンパニー及び連結子会社(o)31(銅価上昇, 環境リサイクル事業の収益改善等) 持分法投資利益(o)69(金属価格上昇等)
	電子材料	31	95	(x) 64	主要製品のマージン改善はあるが, 減販及び在庫評価損・低価損の増を主因に(x) 64億円の減益[在庫評価の影響額 (x) 67 (13 55)]
	金属加工	74	70	(o) 4	りん青銅, コルソン合金等の増販により(o)4億円の増益
	金属調整	-	-	-	
その他		80	60	(o) 20	独立・機能会社の増益等
合計		1,900	1,900	-	

セグメント別情報(中間決算及び19年度予想)

< 1 > 石油(ジャパンエナジーグループ)

(1)業績

(単位:億円)	19年度			18年度			差異		
	上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
売上高	14,349	16,451	30,800	12,975	14,582	27,557	(o) 1,374	(o) 1,868	(o) 3,243
営業利益	283	357	640	384	375	759	(x) 102	(x) 18	(x) 119
経常利益	321	339	660	417	402	819	(x) 96	(x) 63	(x) 159

< 19/上期実績対18/上期実績 >

経常利益が対前年同期比(x) 96億円減益となった要因

- ・在庫評価の影響(o) 24(227 251)
- ・石化損益の悪化(x) 40
- ・その他(x) 86(税制改正に伴う償却費の増, マージン悪化他)
- ・営業外損益の改善(o) 6(為替差益の増他)

(2)燃料油販売数量等

	当社販売量(一般販売(内需)数量) 千KL						当社伸び率		
	19年度			18年度			上期	下期	年度
	上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績			
揮発油	3,158	2,980	6,138	3,113	2,972	6,085	101.4%	100.3%	100.9%
ナフサ	1,803	2,510	4,313	1,704	2,008	3,712	105.8%	125.0%	116.2%
ジェット	305	300	605	322	330	652	94.7%	90.9%	92.8%
灯油	663	2,050	2,713	715	1,811	2,526	92.7%	113.2%	107.4%
軽油	2,092	2,090	4,182	2,084	2,113	4,197	100.4%	98.9%	99.6%
A重油	1,059	1,280	2,339	1,235	1,359	2,594	85.7%	94.2%	90.2%
C重油	1,261	1,230	2,491	939	1,059	1,998	134.3%	116.1%	124.7%
燃料油計	10,340	12,440	22,780	10,112	11,651	21,763	102.3%	106.8%	104.7%
自揮中間留分計	6,972	8,400	15,372	7,148	8,254	15,402	97.5%	101.8%	99.8%

(3) 当社グループの原油処理量(万KL)およびトッパー稼働率

		19年度			18年度					
		4-6月 実績	7-9月 実績	上期 計	4-6月 実績	7-9月 実績	上期 計	10-12月 実績	1-3月 実績	年度 計
グループ計	処理量	467	562	1,029	453	583	1,035	569	552	2,156
	稼働率	80%	93%	85%	79%	98%	89%	94%	93%	91%
	対前年	103%	96%	99%	100%	110%	105%	105%	101%	104%
うち水島	処理量	195	287	482	294	297	591	293	279	1,163
	稼働率	66%	96%	81%	99%	99%	99%	98%	95%	98%
	対前年	66%	97%	82%	149%	110%	127%	105%	96%	112%
うち鹿島	処理量	272	275	547	159	286	445	276	272	993
	稼働率	90%	90%	90%	57%	98%	78%	90%	91%	84%
	対前年	171%	96%	123%	62%	111%	86%	104%	106%	96%

グループ製油所の原油処理能力

・ジャパンエナジー 水島製油所: 205,200バレル/日

・鹿島石油 鹿島製油所: 210,000バレル/日

(4) SS店舗数の推移

	14/3末	15/3末	16/3末	17/3末	18/3末	19/3末	19/9末
社有SS	1,284	1,229	1,207	1,172	1,154	1,143	1,130
(うちセルフ)	(105)	(227)	(264)	(297)	(347)	(384)	(401)
自己SS	3,192	3,067	2,943	2,851	2,679	2,565	2,518
(うちセルフ)	(59)	(95)	(121)	(143)	(187)	(222)	(236)
SS計	4,476	4,296	4,150	4,023	3,833	3,708	3,648
(うちセルフ)	(164)	(322)	(385)	(440)	(534)	(606)	(637)

< 2 > 金属(日鉱金属グループ)

金属総括表

(単位:億円)

		19年度			18年度			差異		
		上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
金属	売上高	5,652	5,248	10,900	5,036	5,205	10,241	(o) 616	(o) 43	(o) 659
	営業利益	205	205	410	356	167	523	(x) 151	(o) 37	(x) 113
	経常利益	593	567	1,160	705	636	1,341	(x) 112	(x) 68	(x) 181
資源・金属	売上高	4,990	4,560	9,550	4,382	4,489	8,870	(o) 608	(o) 72	(o) 680
	営業利益	177	106	283	249	202	451	(x) 72	(x) 96	(x) 168
	経常利益	573	482	1,055	601	676	1,278	(x) 29	(x) 194	(x) 223
電子材料	売上高	678	642	1,320	646	650	1,296	(o) 32	(x) 8	(o) 24
	営業利益	3	55	52	57	64	7	(x) 60	(o) 119	(o) 59
	経常利益	12	43	31	51	73	22	(x) 63	(o) 116	(o) 53
金属加工	売上高	362	398	760	351	353	704	(o) 11	(o) 45	(o) 56
	営業利益	31	44	75	46	14	61	(x) 16	(o) 30	(o) 14
	経常利益	31	43	74	49	17	66	(x) 18	(o) 26	(o) 8
金属調整	売上高	377	353	730	343	286	629	(x) 35	(x) 66	(x) 101
	営業利益	0	0	-	3	15	19	(x) 3	(x) 16	(x) 19
	経常利益	0	0	-	3	15	19	(x) 3	(x) 16	(x) 19

< 2- > 資源・金属カンパニーグループ

(1) 業績

	19年度			18年度			差異		
	上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
売上高	4,990	4,560	9,550	4,382	4,489	8,870	(o) 608	(o) 72	(o) 680
営業利益	177	106	283	249	202	451	(x) 72	(x) 96	(x) 168
経常利益	573	482	1,055	601	676	1,278	(x) 29	(x) 194	(x) 223

< 19/上期実績対18/上期実績 >

経常利益が対前年同期比(x) 29億円減益となった要因

・資源・金属カンパニー及び連結子会社(x) 63・・・環境リサイクル事業の収益改善はあるが、買鉱条件悪化と海外鉱山開発プロジェクトの費用増加等により減益
 ・持分法投資利益(o) 34・・・海外鉱山・製錬会社の銅価上昇(276 308 ¢ /lb)による増益他

(2) 価格・販売量

			19年度			18年度			差異		
			上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
価格	銅価	¢ /lb	348	330	339	338	295	316	(+) 11	(+ 35	(+) 23
	金	\$/TOZ	674	600	637	625	632	629	(+) 49	(-) 32	(+) 8
	白金	\$/TOZ	1,290	1,100	1,195	1,200	1,160	1,180	(+) 90	(-) 60	(+) 15
	パラジウム	\$/TOZ	358	300	329	335	332	333	(+) 23	(-) 32	(-) 4
販売量	電気銅	千t/期	326	329	655	308	338	645	(+) 18	(-) 8	(+) 10

< 2- > 電子材料カンパニーグループ

(1)業績

	19年度			18年度			差異		
	上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
(単位:億円)									
売上高	678	642	1,320	646	650	1,296	(o) 32	(x) 8	(o) 24
営業利益	3	55	52	57	64	7	(x) 60	(o) 119	(o) 59
経常利益	12	43	31	51	73	22	(x) 63	(o) 116	(o) 53

< 19/上期実績対18/上期実績 >

経常利益が対前年同期比(x) 63億円減益となった要因

・営業利益(x) 60: 電解銅箔(o) 5, 圧延銅箔(x) 1, ターゲット材(x) 5, 開発費等共通コスト(x) 1, 在庫評価損益及び低価損(x) 57

・営業外損益(x) 3: 為替差損益(x) 2, 金利(x) 3, その他(o) 2

(2)電子材料製品別内訳

		19年度			18年度			差異		
		上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
(単位:億円)										
銅箔	売上高	283	222	506	246	244	490	(o) 38	(x) 22	(o) 16
	営業利益	27	20	47	23	26	50	(o) 4	(x) 6	(x) 2
ターゲット	売上高	343	368	711	321	327	648	(o) 22	(o) 41	(o) 63
	営業利益	30	47	77	35	13	48	(x) 5	(o) 34	(o) 29
化合物半導体他	売上高	52	52	104	79	78	158	(x) 28	(x) 26	(x) 54
	営業利益	5	12	18	4	2	6	(x) 1	(x) 10	(x) 11
たな卸資産評価の影響	営業利益	55	-	55	2	101	99	(x) 57	(o) 101	(o) 44
合計	売上高	678	642	1,320	646	650	1,296	(o) 32	(x) 8	(o) 24
	営業利益	3	55	52	57	64	7	(x) 60	(o) 119	(o) 59

(注)18年度各期の製品別営業利益は,19年度からの表示(たな卸資産評価の影響額を別掲)に対応して組み替えた

< 2 - > 金属加工カンパニーグループ

(1)業績

	19年度			18年度			差異		
	上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
売上高	362	398	760	351	353	704	(o) 11	(o) 45	(o) 56
営業利益	31	44	75	46	14	61	(x) 16	(o) 30	(o) 14
経常利益	31	43	74	49	17	66	(x) 18	(o) 26	(o) 8

< 19/上期実績対18/上期実績 >

経常利益が対前年同期比(x) 18億円減益となった要因

- ・増販 (o) 3 (銅箔, チタン銅等)
- ・減販 (x) 10 (りん青銅, アンバー, 受託等)
- ・その他 (x) 11 (金属価格(x)6, 営業外損益(x)2 等)

(2)金属加工製品別売上高

	19年度			18年度			差異		
	上期実績	下期予想	年度予想	上期実績	下期実績	年度実績	上期	下期	年度
精密伸銅品	129	128	257	123	117	240	(o) 6	(o) 11	(o) 17
りん青銅									
コルソン合金	46	45	91	39	42	81	(o) 7	(o) 3	(o) 10
圧延銅箔	47	42	89	42	35	77	(o) 5	(o) 7	(o) 12
その他伸銅品	65	73	138	64	56	120	(o) 1	(o) 17	(o) 18
品特殊鋼	17	13	30	37	26	63	(x) 20	(x) 13	(x) 33
精密加工品	65	74	139	63	55	118	(o) 2	(o) 19	(o) 21
内部取引等	7	23	16	17	22	5	(o) 10	(o) 1	(o) 11
合計	362	398	760	351	353	704	(o) 11	(o) 45	(o) 56

連結貸借対照表, キャッシュ・フロー, 指標等

1. 連結貸借対照表

				(金額単位: 億円)	
	19/9末 実績	19/3末 実績	19/上期 増減	20/3末 予想	19年度 増減
資産の部	21,828	20,564	(+) 1,264	22,480	(+) 1,916
流動	11,051	9,968	(+) 1,083		
固定	10,778	10,596	(+) 181		
負債の部	14,297	13,553	(+) 744	14,660	(+) 1,107
流動	10,498	9,735	(+) 763		
固定	3,799	3,818	(-) 19		
純資産の部	7,531	7,011	(+) 520	7,820	(+) 809
株主資本及び評価・換算差額等	6,688	6,225	(+) 463	6,980	(+) 755
少数株主持分他	843	786	(+) 57	840	(+) 54
自己資本比率	30.6%	30.3%	(+) 0.3%	31.0%	(+) 0.7%
1株当たり純資産(円/株)	722	672	(+) 50	753	(+) 82
有利子負債	7,176	6,894	(+) 281	8,420	(+) 1,526
D/Eレシオ(倍)	1.07	1.11	(-) 0.04	1.21	(+) 0.10

(注1) 自己資本比率及び1株当たり純資産計算対象の自己資本額は、上表「株主資本及び評価・換算差額等」

(注2) 20/3末予想の1株当たり純資産は、19/9末発行済株式数(連結)926,813千株で算定

(1) 主な項目の19年度上期増減要因

資産 (+) 1,264	現金・現金同等物(+152, 売掛金・たな卸資産(+916, 設備投資(+340, 減価償却(-)298, 投融資支出(+47, 持分法投資利益・配当差額(+190, 有価証券評価差額(-)27, その他(-)56
負債 (+) 744	有利子負債(+281(キャッシュ・フローとの差額は為替換算影響他), 仕入債務(未払揮税含む)(+702, 未払法人税等(-)83, 設備未払金(-)133, その他(-)23
純資産 (+) 520	当期純利益(+510, 配当金支払(-)74, その他有価証券評価差額金(-)17, 為替換算調整勘定(+56, 少数株主持分他(+45

(2) 主な項目の19年度増減(予想)要因

資産 (+) 1,916	現金・現金同等物(+248, 売掛金・たな卸資産(+530, 設備投資(+1,150, 減価償却(-)630, 投融資支出(+550, 持分法投資利益・配当差額(+325, その他(-)257
負債 (+) 1,107	有利子負債(+1,526(キャッシュ・フローとの差額は為替換算影響他), 仕入債務(未払揮税含む)(-)130, その他(-)289
純資産 (+) 809	当期純利益(+980, 配当金支払(-)148, 少数株主持分他(-)23

2. 連結キャッシュ・フロー

(金額単位: 億円)

	19/上期 実績	18/上期 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	483	428
投資活動によるキャッシュ・フロー	451	533
財務活動によるキャッシュ・フロー	114	927
為替換算差額	5	3
現金・現金同等物の増減額	151	37
(参考)フリーキャッシュ・フロー	125	1,204

19年度 予想	18年度 実績
750	412
1,730	976
1,230	374
-	1
250	191
1,290	944

(1) 19年度上期実績の内訳

営業C/F (+) 483	経常利益(+957, 減価償却費(のれん含む)(+298, 売上債権・たな卸資産・仕入債務(-)211, 持分法投資利益(-)444, 持分法会社からの配当(+254, 法人税等支払(-)359, その他(-)12
投資C/F (-) 451	設備投資額(-)340, 投融資支出(-)47, 投融資回収(+63, 設備未払金減少(-)133, その他(+6
財務C/F (+) 114	有利子負債借入(+271, 配当金支払(-)74, 少数株主への配当支払(-)80, その他(-)3

(2) 19年度予想の内訳

営業C/F (+) 750	経常利益(+1,900, 減価償却費(+630, 売上債権・たな卸資産・仕入債務(-)660, 持分法投資利益(-)875, 持分法会社からの配当(+550, 法人税等支払他(-)795
投資C/F (-) 1,730	設備投資額(-)1,150, 投融資支出(-)550, 投融資回収他(設備未払金増減を含む)(-)30
財務C/F (+) 1,230	有利子負債借入(+1,530, 配当金支払(-)148, 少数株主への配当支払他(-)152

3. 連結ベース設備投資・投融資額及び減価償却費

	19/上期 実績	18/上期 実績
設備投資額	340	350
減価償却費(のれん償却費を含む)	298	243
差引き	(+) 41	(+) 108

投融資額	47	385
------	----	-----

(金額単位:億円)

19年度 予想	18年度 実績
1,150	981
630	516
(+) 520	(+) 465

550	401
-----	-----

(1) セグメント別設備投資額

	19/上期 実績	18/上期 実績
石油	237	187
金属	97	159
資源・金属	46	84
電子材料	31	39
金属加工	20	36
その他	5	5
計	340	350

(注)消去又は全社分はその他に含む

19年度 予想	18年度 実績
740	623
390	349
195	192
130	99
65	58
20	9
1,150	981

(2) セグメント別減価償却費(のれん償却費を含む)

	19/上期 実績	18/上期 実績
石油	166	142
金属	129	98
資源・金属	88	61
電子材料	27	22
金属加工	15	15
その他	3	3
計	298	243

(注)消去又は全社分はその他に含む

19年度 予想	18年度 実績
355	291
265	220
175	142
60	47
30	31
10	5
630	516

4. セグメント別連結有利子負債

(金額単位:億円)

	19/9末	19/3末	増減
石油	4,667	4,425	(+) 242
金属	3,155	3,039	(+) 116
その他	646	570	(-) 77
計	7,176	6,894	(+) 281

(注)消去又は全社分はその他に含む

5. 配当金

	18年度実績				19年度(予想)			
	中間	期末	年間	配当金総額	中間	期末	年間	配当金総額
	円/株	円/株	円/株	百万円	円/株	円/株	円/株	百万円
配当金	8.00	8.00	16.00	14,842	8.00	8.00	16.00	14,840

(注)19年度予想配当金総額は、19/9末発行済株式数(個別)927,483千株で算出

6. 連結ベース人員の推移

(単位:人)

	18/3末 実績	19/3末 実績	19/9末 実績
石油	3,920	3,999	4,171
金属	4,348	4,704	4,768
資源・金属	1,553	1,843	1,931
電子材料	1,373	1,426	1,375
金属加工	1,422	1,435	1,462
その他	1,311	1,266	1,287
計	9,579	9,969	10,226

(注)当社分はその他に含む

平成19(2007)年度 中間決算 会社説明会

平成19(2007)年11月8日

「将来に関する記述等についてのご注意」については最終ページをお読みください。

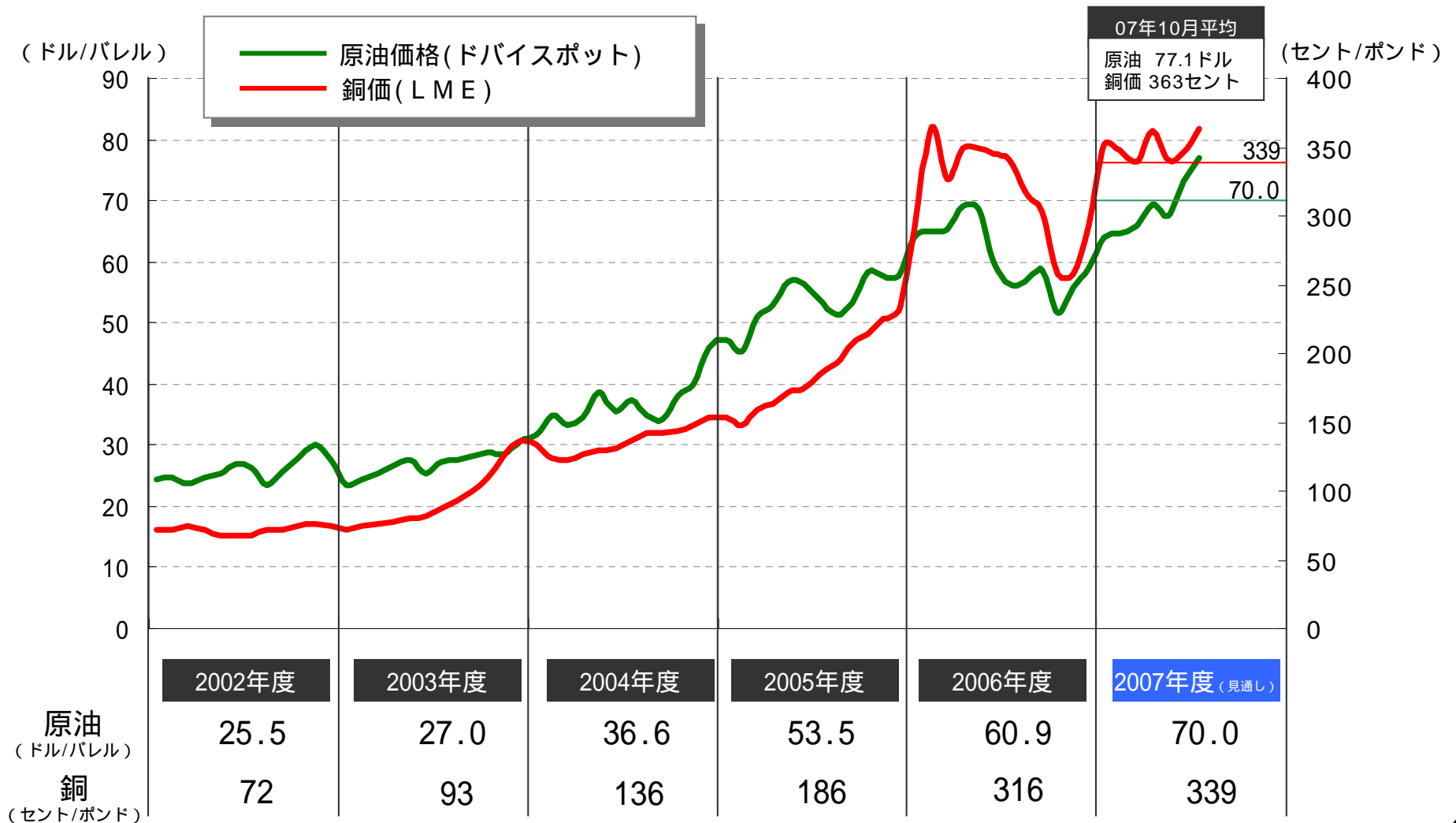
新日鉱ホールディングス株式会社





原油価格と銅価

■ 地政学的リスクや潤沢なファンド資金の流入などが、
実需による価格形成を一段と押し上げている





事業環境

■ 世界的にボーダレスな社会・経済情勢

- ・サブプライムローン問題等に端を発した
為替・商品市況・株価の急激な変動

■ 先行き不透明感への敏感な反応

どのような影響が波及するか予断を許さない状況

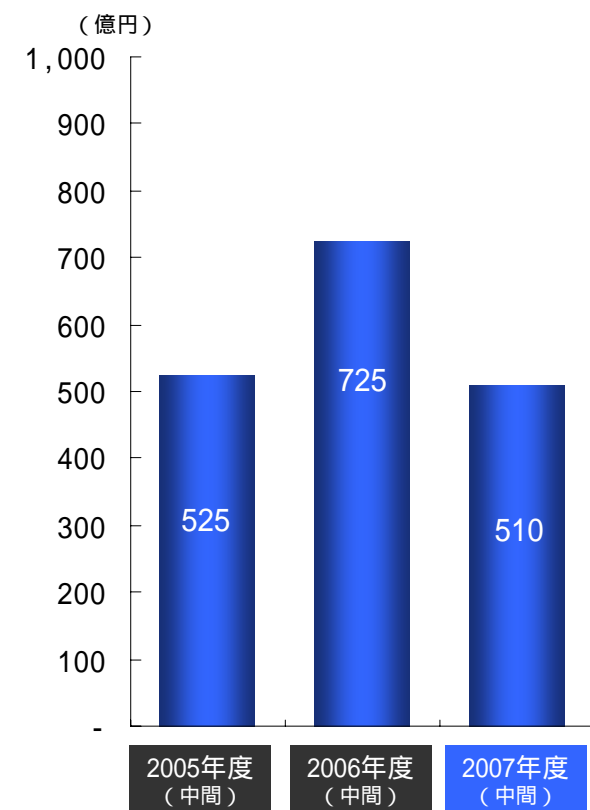
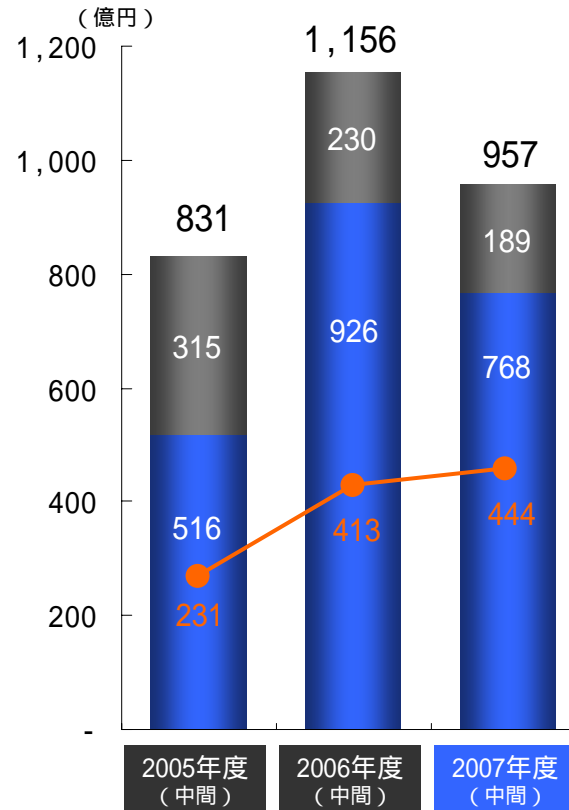
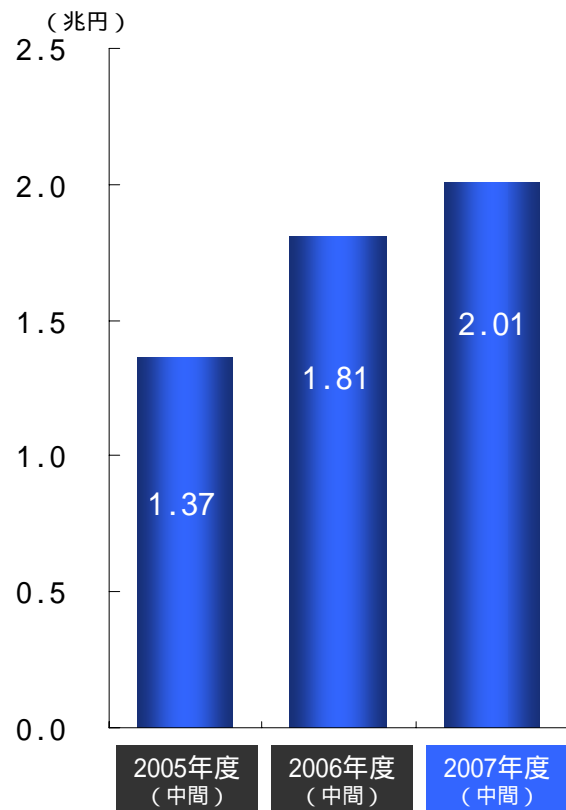


中間連結業績

原油価格・銅価格は
高いレベルで推移



- ・石油の在庫評価益が拡大
- ・チリ3鉱山の持分法投資利益が拡大



■ たな卸資産評価影響(在庫評価損益・低価損)

● 持分法投資利益



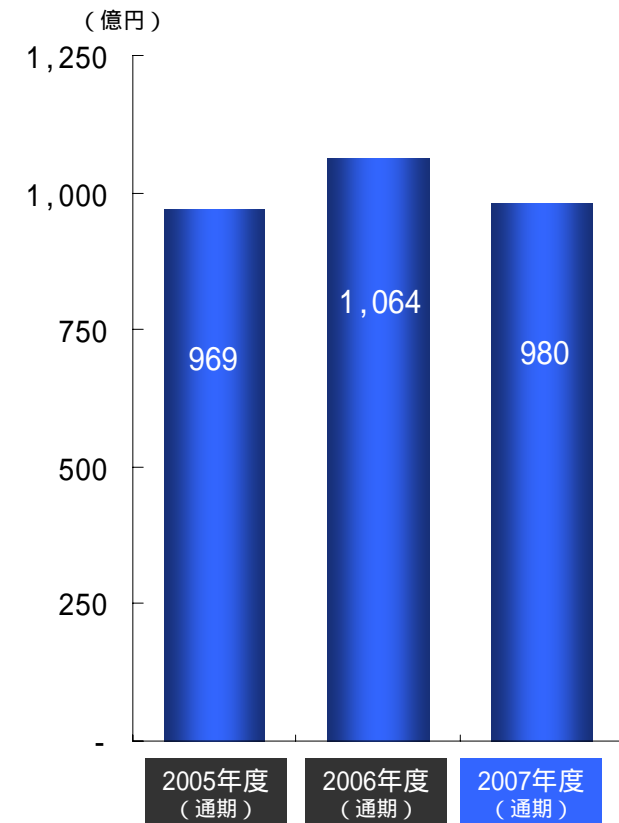
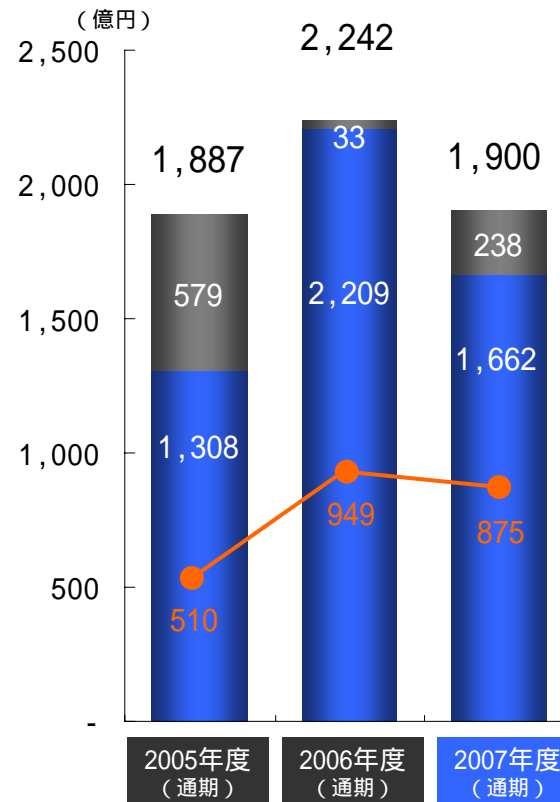
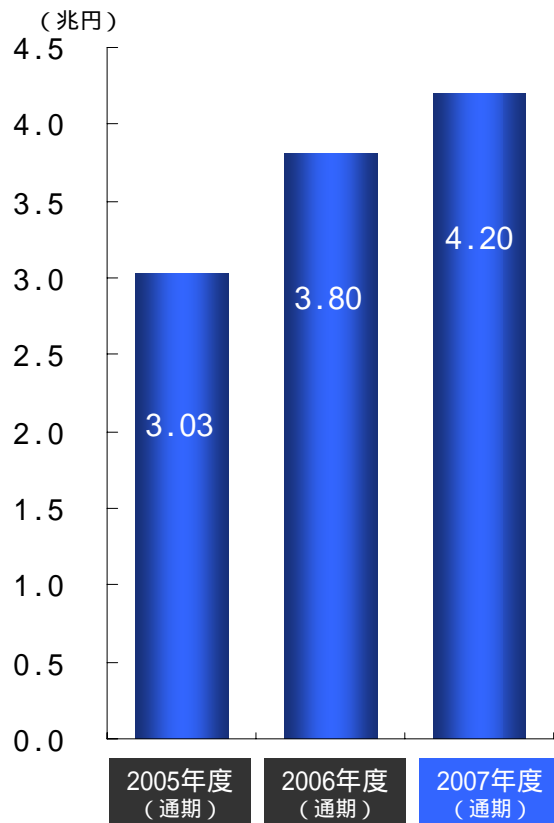
通期連結業績見通し

原油価格・銅価格は
引き続き高いレベルで推移



経常利益 1,900億円
当期純利益 980億円 の見通し

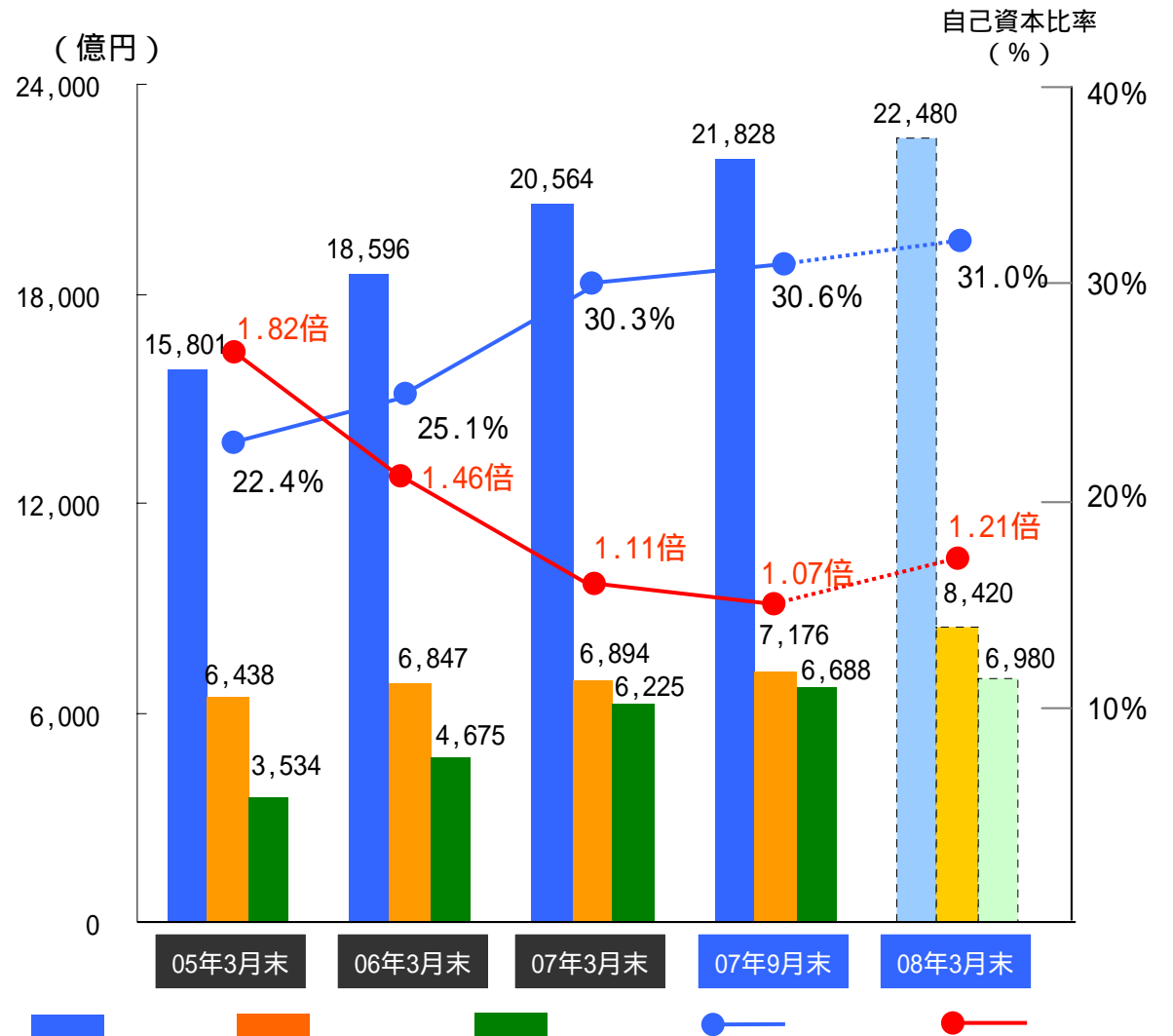
売上高 経常利益 当期純利益



たな卸資産評価影響(在庫評価損益・低価損)
 持分法投資利益



財務体質



■ 総資産 (億円) ■ 有利子負債 (億円) ■ 自己資本* (億円) ● 自己資本比率 (%) ● D/E レシオ (倍)

* 2006年度以降の自己資本は、純資産の部の株主資本および評価・換算差額等の合計額 (少数株主持分等含まず)

2010年度末目標
(2005年4月設定)

自己資本比率

40%以上

D/E レシオ

1.0 倍以下

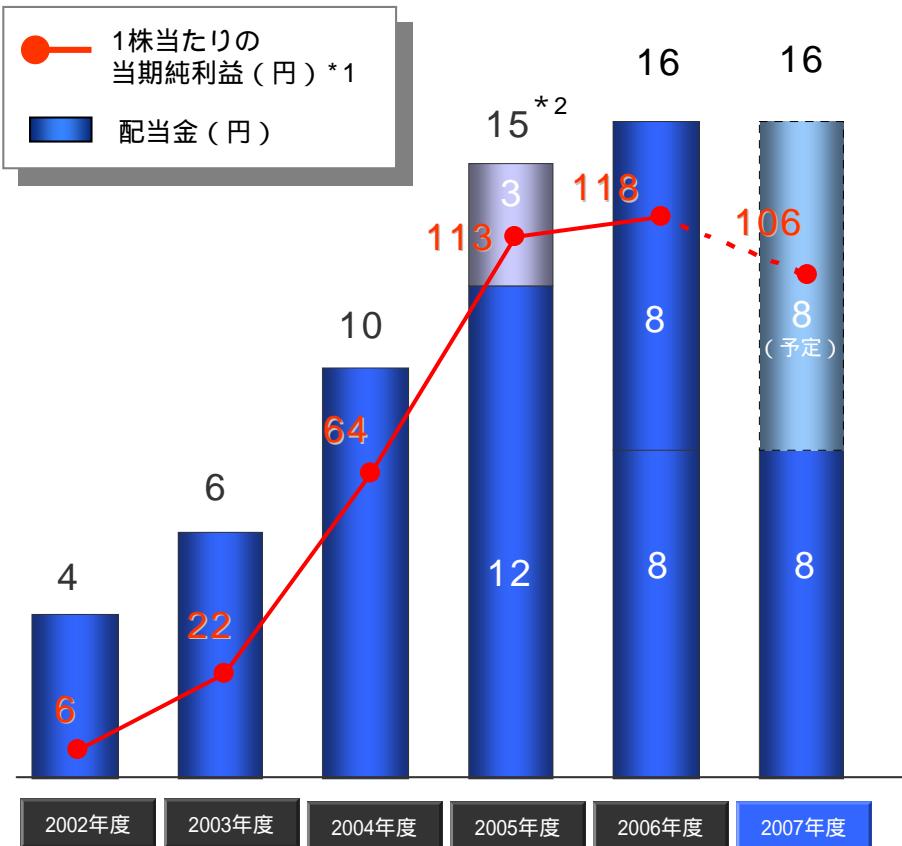
社債格付 A の
維持は最低限必要



配当政策

1株当たり配当金は年16円を予定（2007年度）

1株当たり当期純利益と配当額の推移



配当の基本的な考え方

1. 収益水準
2. 市況により大きな変動を受けやすい事業特性
3. 安定的な配当の継続

などを総合的に勘案

*1 2006年度までは、当期純利益を当該期の普通株式の期中平均株式数で除したものの、2007年度は、当期純利益見通しを2007年9月末現在の普通株式数で除したものの。

*2 2005年度の年間配当金15円には、創業100周年記念配当3円を含む。

今後の課題・方針（石油）



- 燃料油部門の収益改善と石油化学を中心とした付加価値の追求
- 鹿島製油所での石油化学製品増産設備の本格稼働
- 次なるアロマ(芳香族)プラントの建設や新たな重質油分解設備の建設の可能性・是非につき、長期的視点で検討
- 新日本石油、出光興産との連携の一段の強化



今後の課題・方針（金属）

■ 鉱山・製錬の融合を深めた事業体に変革するとともに、IT関連等の高付加価値の事業を強化

- チリ・カセロネス銅鉱山開発
ペルー・ケチュア銅鉱山開発 ▶ P P Cによる
経済性調査を推進
- P P Cにおける生産統合シナジーの追求等、コスト競争力の一段の強化
- IT関連や環境・リサイクル事業など、付加価値の向上が期待できる下流部門の拡充

長期ビジョン



2015年度を目途とした長期ビジョン(骨子)

- リスク・リターンのバランスのとれた事業のベストポートフォリオを追求する
 1. 経常利益 2,500億円以上の基礎収益力(2015年度)
 2. 設備投資・投融資 1兆円規模(2014年度までに)

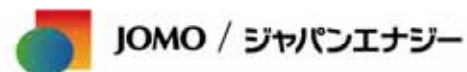
- 資本や資産の効率的運用をより重視し、ROEを経営指標として設定する

まとめ



持続的成長を遂げる グローバルな資源・素材・エネルギー企業へ

石油も、銅も。
新日鉱ホールディングス





将来に関する記述等についてのご注意

- 本資料に記載されている情報には、将来の見通しに関する記述が含まれております。将来の見通しに関する記述には、様々な既知および未知のリスク、不確定要因が伴うため、現実の結果が将来の見通しに関する記述に含まれる内容または将来の見通しに関する記述で示唆されている内容と大きく変わる可能性があります。
- 当社は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている目標、想定、期待、予測、計画、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになるということを、保証いたしません。
- 将来の見通しに影響を与えうる潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書またはホームページの「事業等のリスク」の項に記載されております。なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらのみで限定されるものではありませんのでご注意ください。
- 本資料は、株主・投資家等の皆様に、当社の経営方針・経営情報等をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入・売却など、投資を勧誘するものではありません。実際に投資を行う際は、本情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただきますとともに、投資に関するご判断はご自身にてなされますよう、お願いいたします。